



IXIL

あやかぜ 可動式日除け 彩風 ウィンドウタイプ

取付け説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


注意

- 取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<取付けされる方へのお願い>


注意

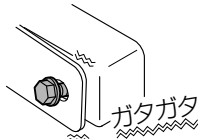
- 組立て後、以下の項目通り施工されているか確認してください。



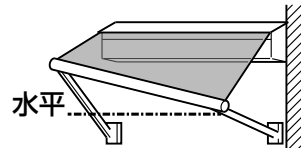
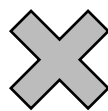
チェックシート

 確認後チェック欄に ☒ マークしてください。

☐ ボルト・ねじのゆるみ、締め忘れはありませんか？

☐ 前枠は水平になっていますか？


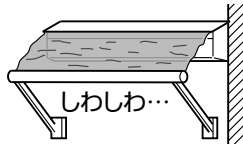
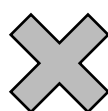
製品破損のおそれがあります。



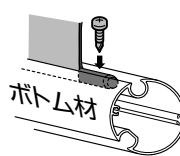
ケース内に収納できない場合があります。

☐ キャンバスに寄れやたるみはありませんか？

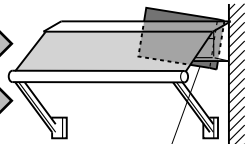
☐ キャンバスのチューブをボトム材に固定しましたか？

☐ ベースプレートがある場合、躯体に水平に取付いていますか？


キャンバスに巻きじわができる場合があります。



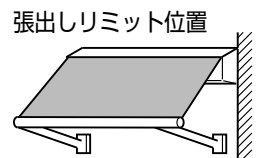
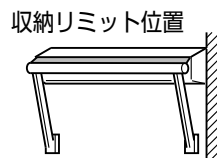
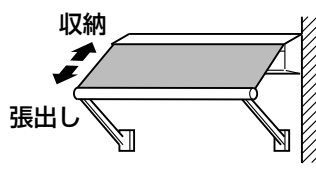
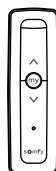
キャンバスがずれる場合があります。



組立てできない場合があります。

電動リモコン式

☐ スイッチが正しく作動しますか？

☐ 収納・張出しリミット位置は正しく設定されていますか？


※リミット位置はP.17を参照してください。

<取付けされる方へのお願い つづき>

⚠ 注意

- 商品が落下・破損するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・ブラケット・ベースプレート(オプション)は、躯体の柱などの重量・使用に耐えられる構造材に直接取付けてください。
 - ・躯体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。
 - ・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
 - ・指定のボルト・ねじで固定してください。
 - ・コーチスクリューφ9を使用する場合は、必ず構造材に45mm以上ねじ込んでください。付属のコーチスクリューだと長さが足りない場合は、別途用意してください。
 - ・アジャストアンカーφ10(オプション)を使用する場合は、必ずRC本体に45mm以上埋込んでください。
- 強いスプリングでアームが伸びてケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・アームをブラケット・ボトム材に取付け終わるまで、ストッパーを外さないでください。
- 漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定の箇所(特に接続部)にコーキング材を充てんしてください。
 - ・外壁の上から部材を取り付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
 - ・本体取付け前に、ブラケットの周囲にコーキング材が充てんしていることを確認してください。
 - ・シリコンコーキング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系コーキング材を使用してください。

コーキング材メーカー	品名および品番	LIXIL商品コード
信越化学工業(株)	シーラント72	WBJ□006 (□にはB・W・T・Kが入ります)
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380	
ダウ・東レ(株)	SE960	

- 積雪地域ではベースプレートを通しで入れてください。製品破損のおそれがあります。
- 製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
 - ・ボルト、ねじは弊社純正の規定本数を使い、右記締付けトルクを参照し、固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・製品の改造は絶対にしないでください。

■締付けトルク

φ4ねじ	: 2.5N・m±0.5N・m	(25±5kgf・cm)
φ5ねじ	: 3N・m±0.5N・m	(30±5kgf・cm)
M6ボルト	: 5.2N・m±0.5N・m	(52±5kgf・cm)
M8ボルト	: 12.5N・m±0.5N・m	(125±5kgf・cm)
M10ボルト	: 24.5N・m±0.5N・m	(245±5kgf・cm)

<取付け上のおお願い>

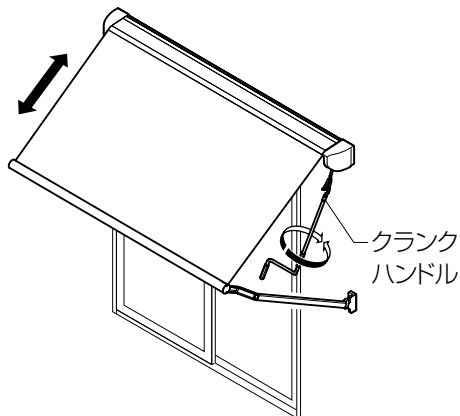
- 標準の駆動側は外観右側になります。現場にて変更する場合は、本書の内容にしたがって取付けてください。
- 強風(20m/s以上)のとき、又は突風が予想される場合は、必ずキャンバスを巻取ってください。
- キャンバス生地は汚れ・キズが付きやすいので、特に取扱いに気を付けてください。
- 特注寸法でご注文の場合、ケースセットなどは規格寸法品のため現場加工してください。
- 電動リモコン式**の場合、モーター(巻取りパイプ)は日影に入れて熱くならないようにしてください。
- 施工の安全上、足場を組むなどの措置をとってください。

タイプ一覧

※本図は外観右側駆動の仕様になります。

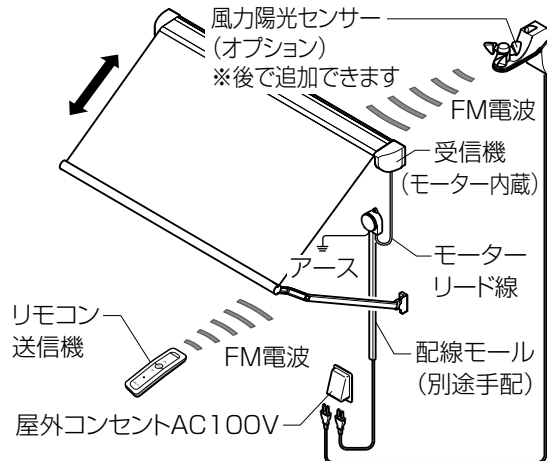
手動式

手動ギアをクランクハンドルで操作して開閉します。



電動リモコン式

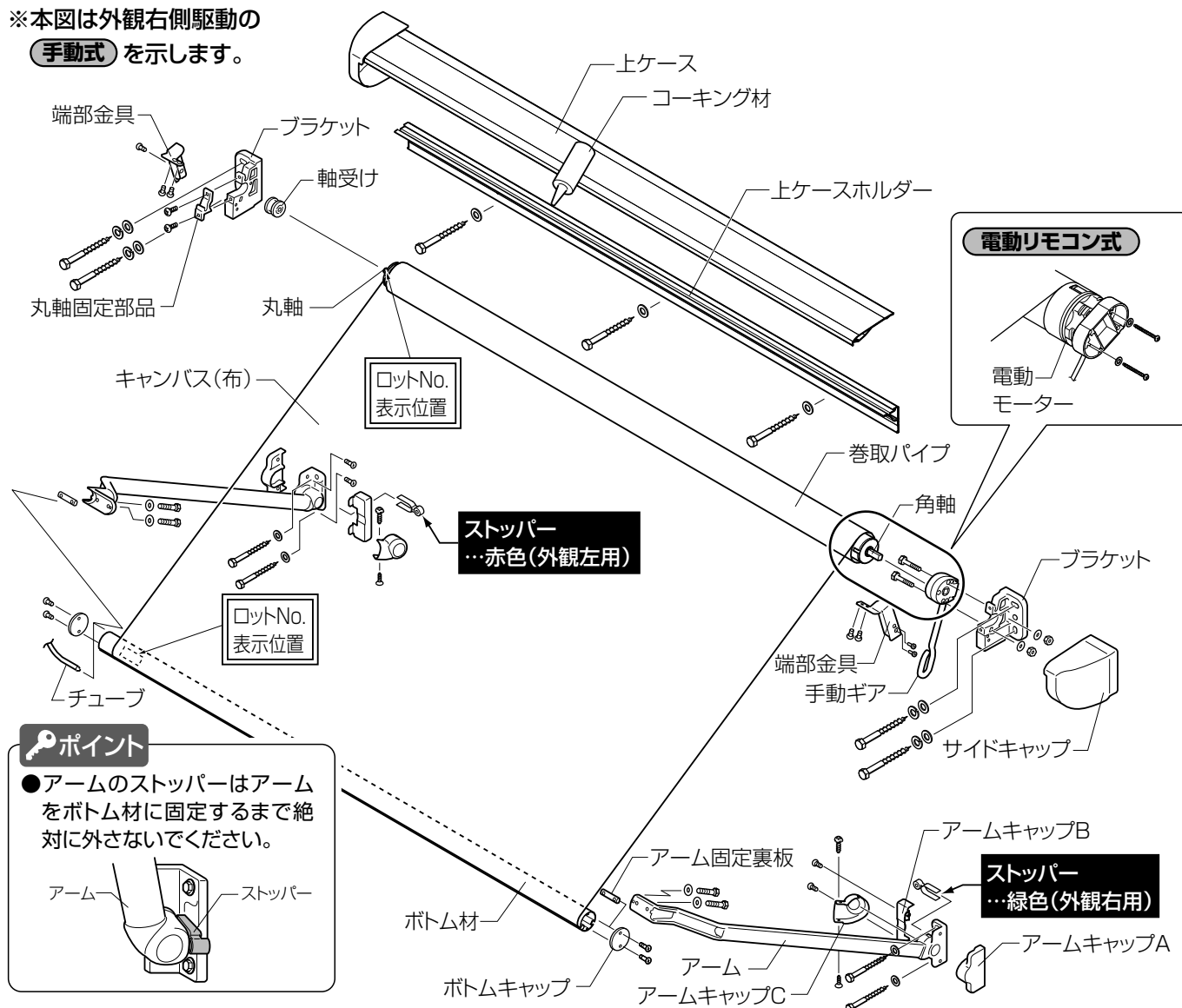
電動モーターをリモコンで操作して開閉します。



構造説明図

※本図は外観右側駆動の

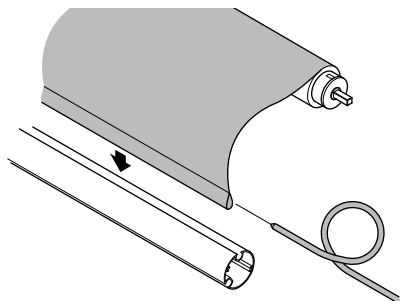
手動式 を示します。



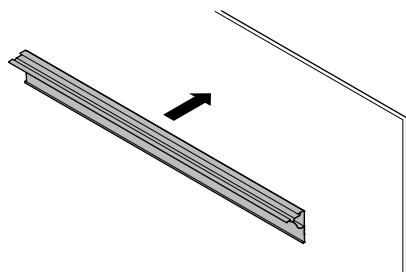
施工フロー

手動式

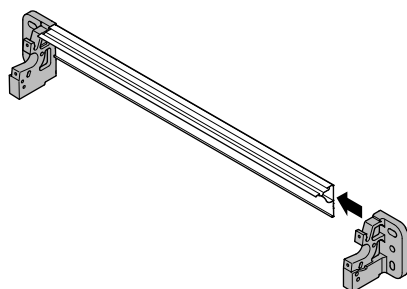
1 ボトム材とキャンバスの接続…P.10



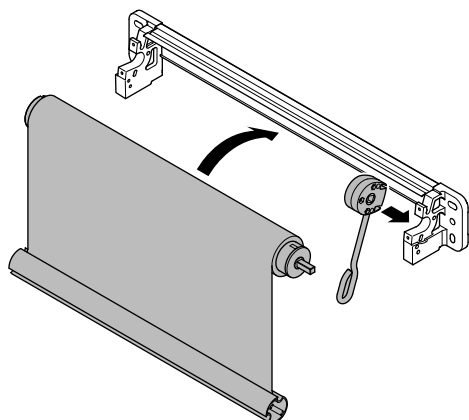
2 上ケースホルダーの取付け…P.11



3 ブラケットの取付け…P.11

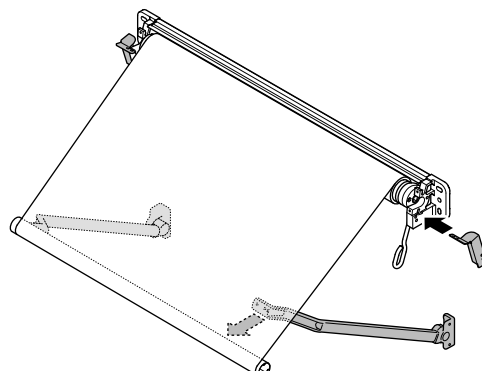


4 巻取りパイプの取付け…P.12



5 端部金具の取付け…P.13

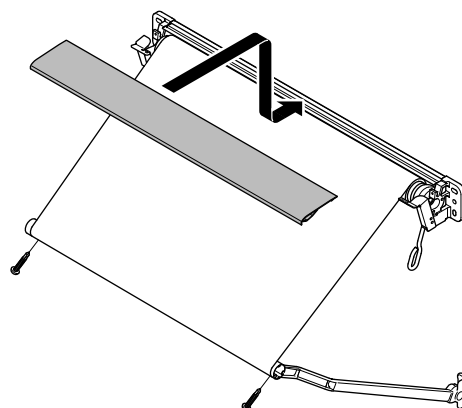
6 アームの取付け…P.13



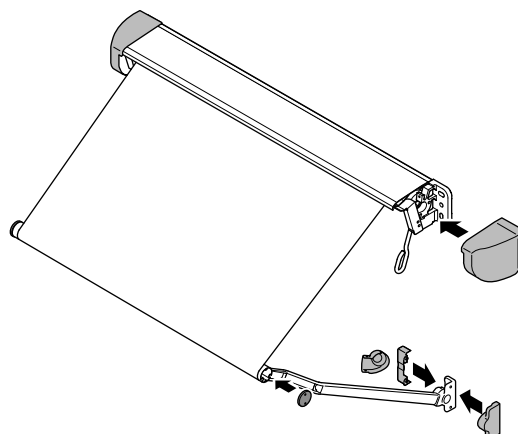
8 開閉リミット(限界)調整…P.16

9 キャンバスの固定…P.19

10 上ケースの取付け…P.19



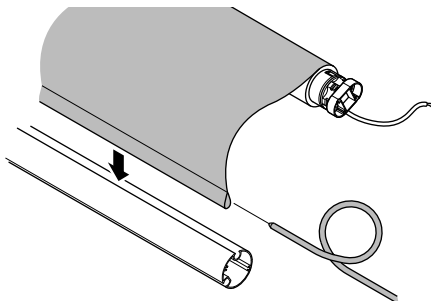
11 キャップの取付け…P.20



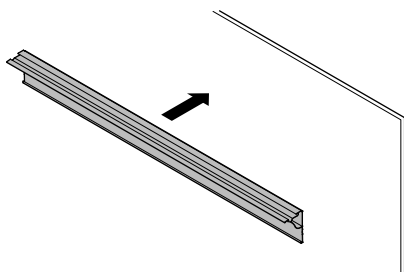
施工フロー

電動リモコン式

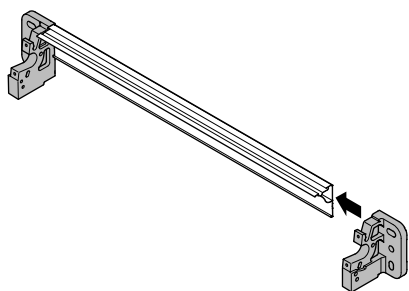
1 ボトム材とキャンバスの接続…P.10



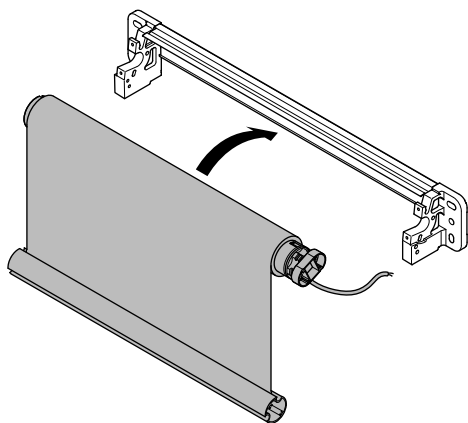
2 上ケースホルダーの取付け…P.11



3 ブラケットの取付け…P.11

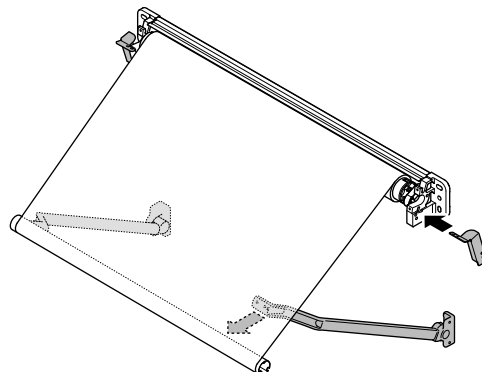


4 巻取りパイプの取付け…P.12



5 端部金具の取付け…P.13

6 アームの取付け…P.13

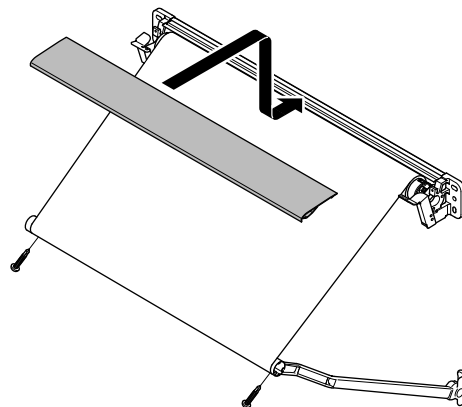


7 電気配線…P.14

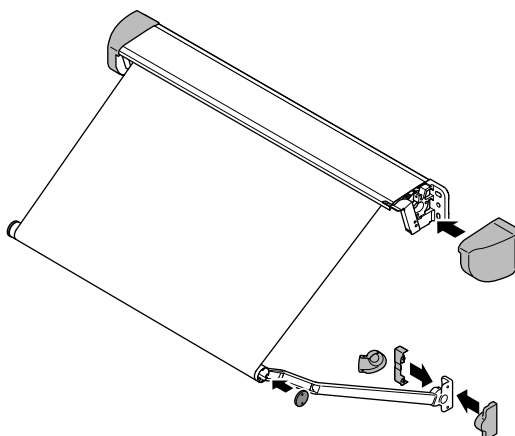
8 開閉リミット(限界)調整…P.17

9 キャンバスの固定…P.19

10 上ケースの取付け…P.19



11 キャップの取付け…P.20



梱包明細表

【1】 ケースセット

名 称	略 図	員 数
上ケース		1
上ケースホルダー		1
ウィンドウタイプ用ボトム		1

【2】 本体セット (手動・ウィンドウ用)

名 称	略 図	員 数
本体セット		1
アーム (L・R)		各1
手動ギア		1
ストップマーク	—	2
φ6チューブ(ポリエステル生地の場合)	—	1
φ5.5チューブ(アクリル生地の場合)	—	1

【3】 本体セット (リモコン・ウィンドウ用)

名 称	略 図	員 数
本体セット		1
アーム (L・R)		各1
リモコン送信機		1
ジョイントボックス		1
5m電線セット	—	1
φ6チューブ(ポリエステル生地の場合)	—	1
φ5.5チューブ(アクリル生地の場合)	—	1

補 足

リモコンは本イラストとデザインが異なる場合がありますが機能、操作、設定方法に変更はありません。

【4】 ブラケットセット

名 称	略 図	員 数
ブラケットセット(L・R)		各1
軸受		1
丸軸固定部品		1
端部金具ウィンドウタイプ用(L・R)		各1
アーム固定裏板(ウィンドウ用)		2
ボトムキャップ		2

【4】 ブラケットセット (つづき)

名 称	略 図	員 数
アームキャップA		2
アームキャップB		2
アームキャップC(L・R)		各1
サイドキャップ(L・R)		各1
【4-1】φ9×100六角コーチボルト(ねじ部80)	—	4
【4-2】φ6×70六角コーチボルト	—	7
【4-3】φ5×35ナベタッピンねじ2種(G=5)	—	2
【4-4】φ4×20皿タッピン2種(G=5)	—	4
【4-5】φ4×16ナベドリルねじ	—	2
【4-6】φ5×12トラスタッピンねじ 3種	—	6
【4-7】φ4×13ナベドリルねじ	—	4
【4-8】M10平ワッシャー	—	4
【4-9】M10スプリングワッシャー	—	4
【4-10】M6×55六角ボルト	—	2
【4-11】M6六角ナット	—	2
【4-12】M6平ワッシャー	—	14
【4-13】M6×18六角ボルト(十字穴付)	—	4
【4-14】M4×8トラス小ねじ	—	4
【4-15】φ5×10ナベタッピンねじ 2種	—	4
可動式日除け取扱い説明書	—	1
ウィンドウタイプ取付け説明書	—	1

【5】 クランクハンドル (手動式)

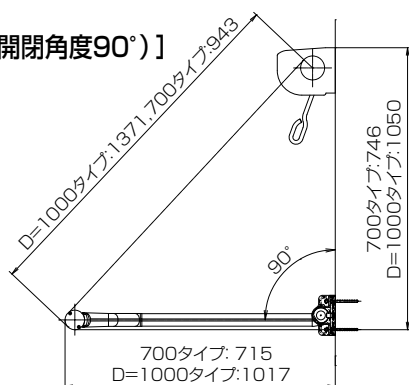
名 称	略 図	員 数
クランクハンドル		1

【6】 ベースプレートセット

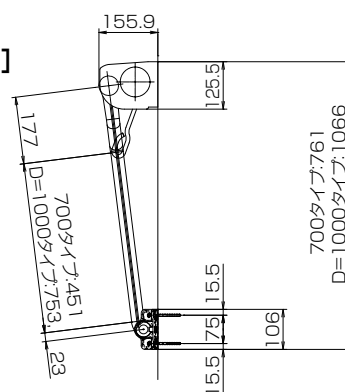
名 称	略 図	員 数		
		L=215	L=600	L=3,330
ベースプレートC・CR型用		2	2	1
ベースプレート端部キャップC・CR型用		4	4	—
【6-1】φ8×90六角コーチボルト	—	—	8	—
【6-2】φ9×100六角コーチボルト(ねじ部80)	—	4	—	—
【6-3】M10用平ワッシャー	—	4	8	—
【6-4】M10×30六角ボルト	—	4	4	—
【6-5】M10平ワッシャー	—	4	4	—
【6-6】M10スプリングワッシャー	—	4	4	—
【6-7】φ4×10ナベタッピン3種(D=7)	—	4	4	—
【6-8】M10用六角ナット	—	4	4	—

姿図

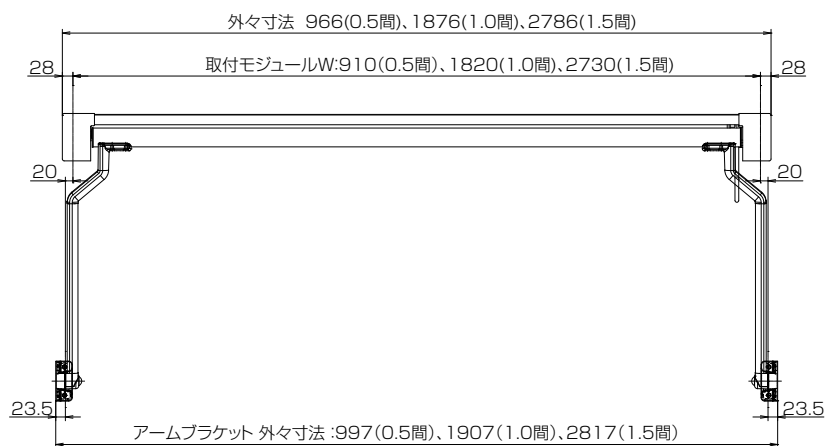
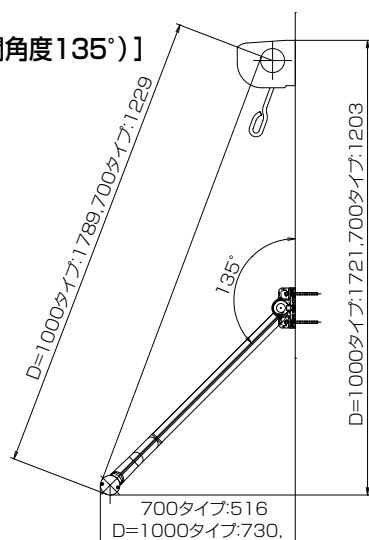
【側面図（開閉角度90°）】



【側面図（収納時）】



【側面図（開閉角度135°）】



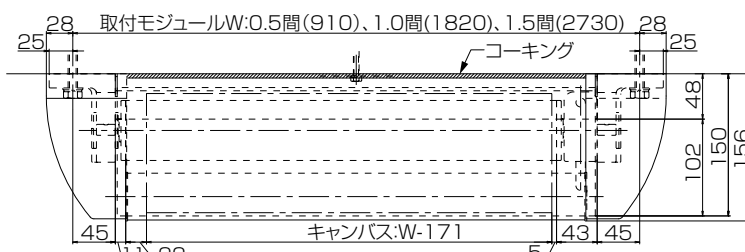
※本図は手動タイプを示す。リモコンタイプは、本図と同寸法。

平面納まり図

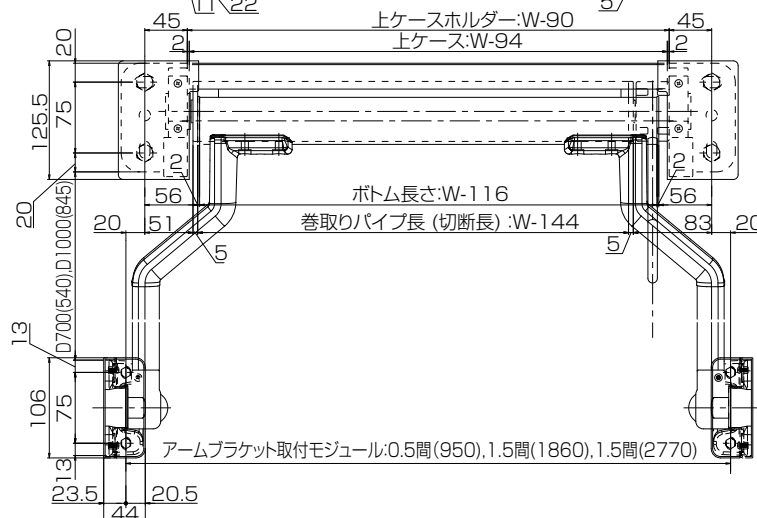
【**手動式** **右駆動** の場合】

※ **左駆動** の場合は左右対称です。

【平面図】



【正面図】



取付け位置の障害物確認

ポイント

●取付け位置の上下に障害物があると取付けられないことがありますので、下記を確認してください。

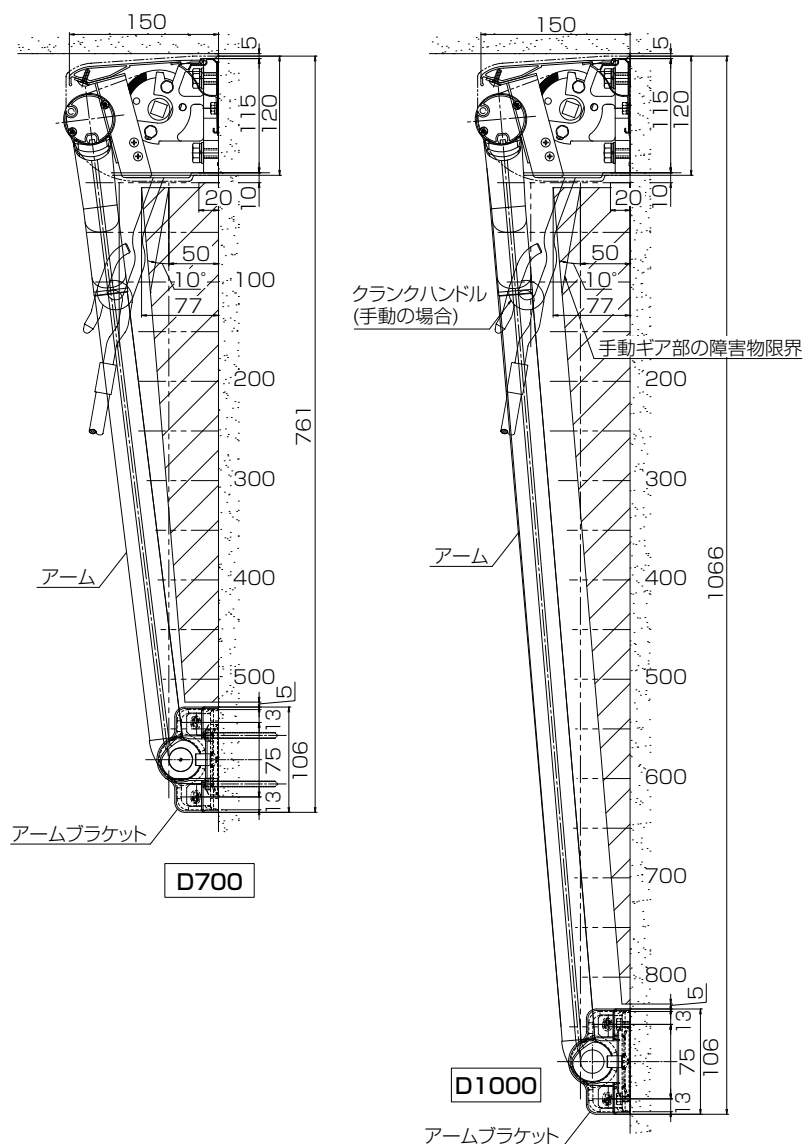
[取付け位置の上部に障害物がある場合]

●上ケース付きの場合…ブラケット上端から5mm以内に障害物がないこと。

※躯体部にシーリングをするときは、作業スペースを考慮してください。

[取付け位置の下部に障害物がある場合]

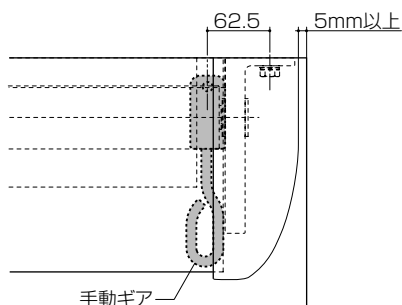
●アームブラケット取付け位置に障害物がある場合は、取付けできません。図を参考に位置を確認してください。



[入隅部分や並べて取付ける場合の間隔]

手動式

クランクハンドル(手動ギア)の位置



補足

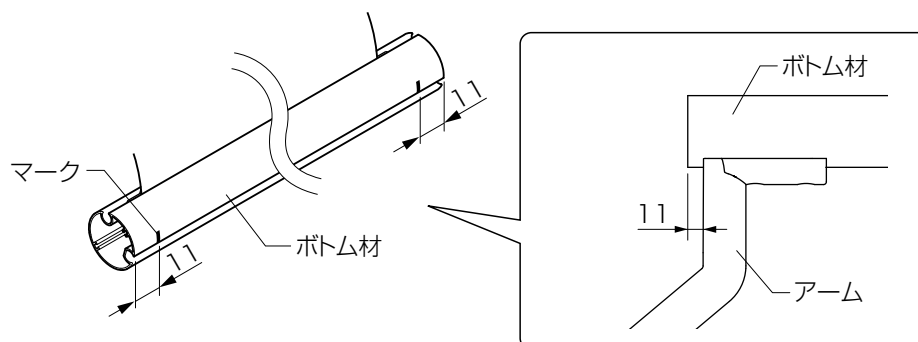
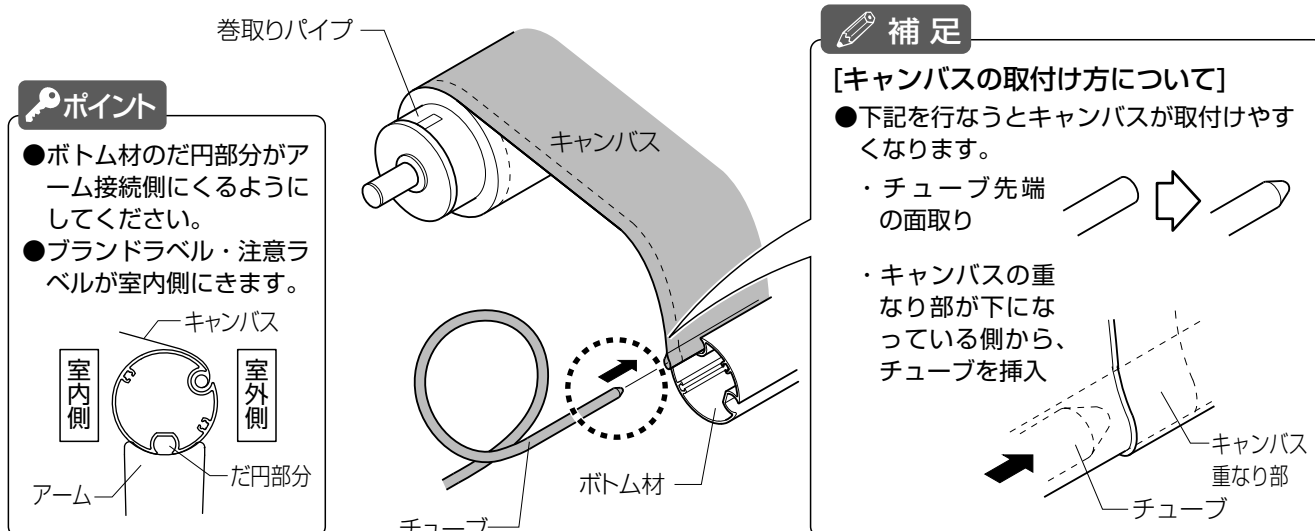
- 本図は **手動式** を示します。
- **電動リモコン式** は本図と同寸法となります。

取付け手順 ■ボトム材とキャンバスの接続

1 ボトム材とキャンバスの接続

1-1 キャンバスの取付け

- ①キャンバスにチューブを差込み、ボトム材に組み込みます。
- ②ボトム材のアーム接続溝の左右それぞれ11mmの箇所にマークを入れてください。アーム固定の目安となります。

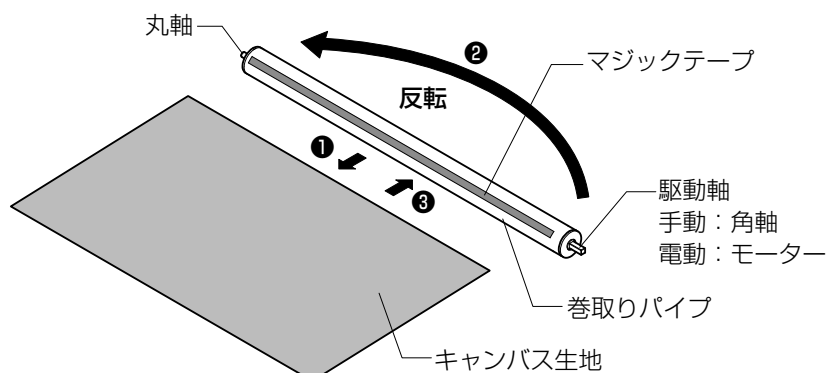


1-2 駆動側を変更する場合 ※現場にて駆動位置を変更する場合の作業です。

補足

- 下図は外観右駆動を左駆動に変更する場合を示しています。
- 左駆動に変更する場合は、巻取りパイプの左右を反転し駆動位置を変更します。

- ①巻取りパイプからキャンバス生地を外してください。
- ②巻取りパイプを左右反転してください。
- ③巻取りパイプにキャンバス生地を取付けてください。



ポイント

- キャンバス生地はシワが出ないように取付けてください。

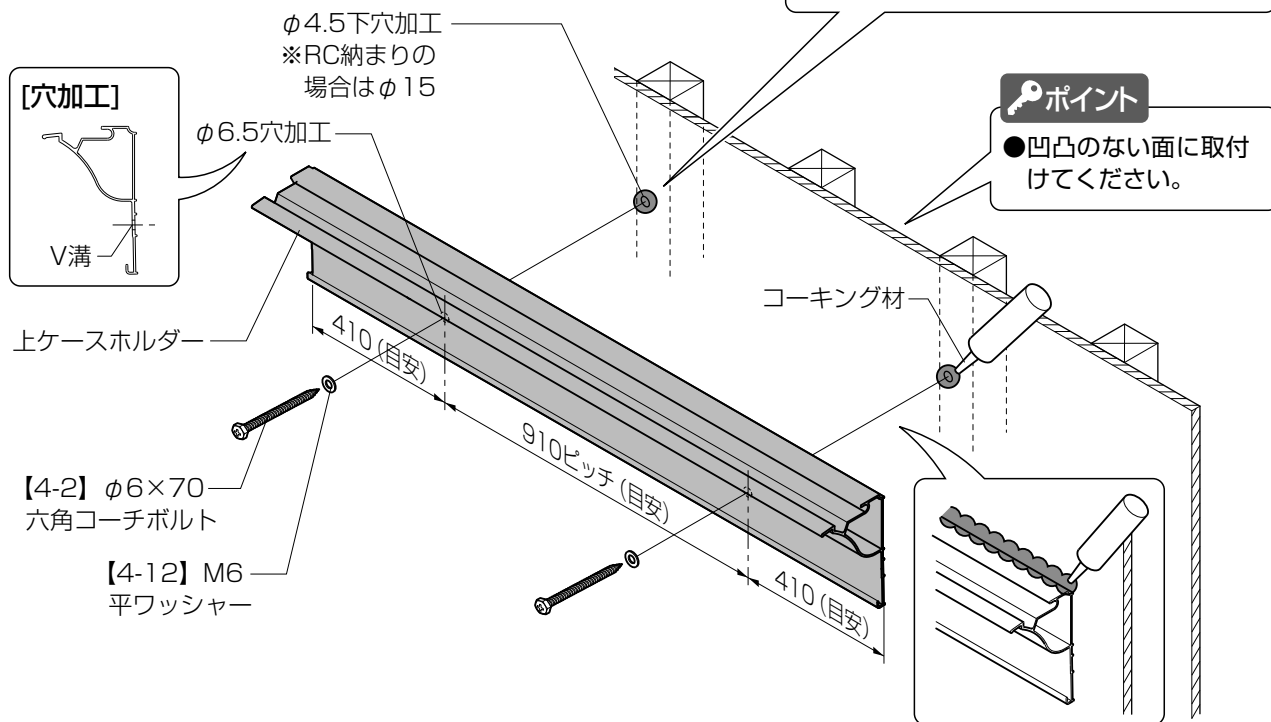
左駆動の場合 [キャンバス取付位置]



取付け手順

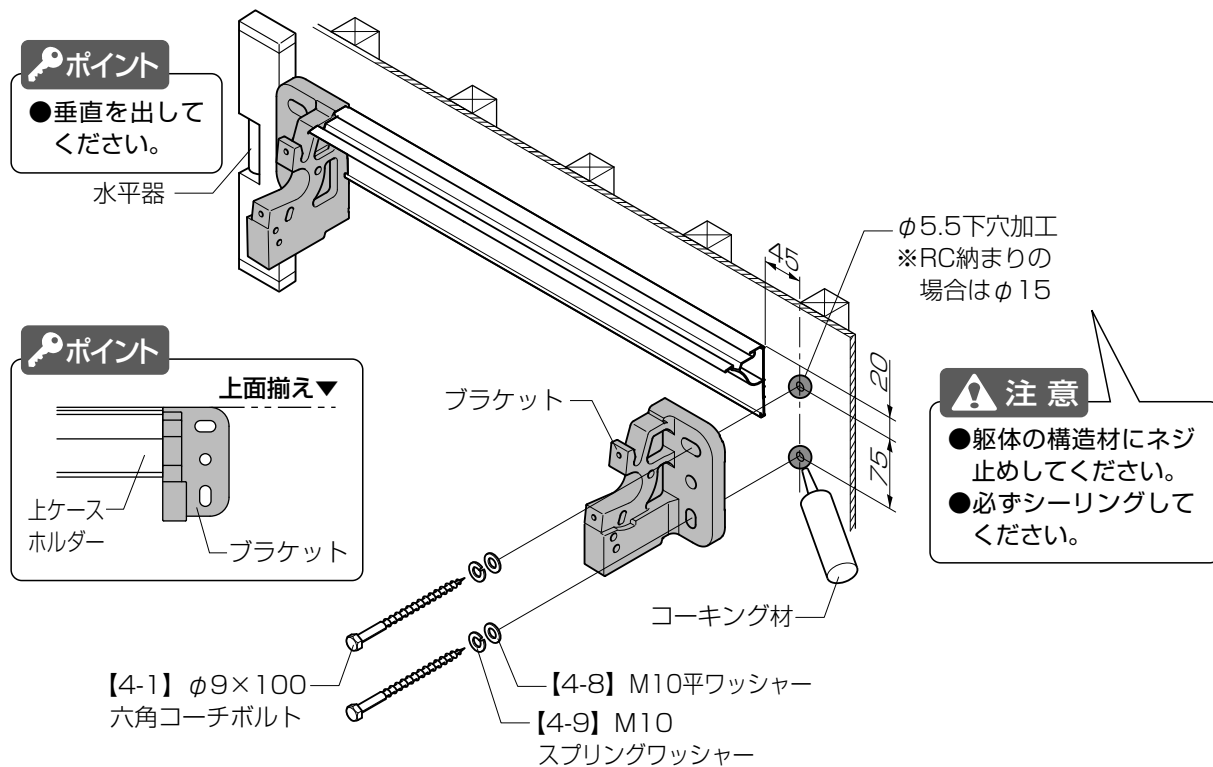
■2 上ケースホルダーの取付け

- ①上ケースホルダーにφ6.5穴加工をしてください。
- ②躯体にφ4.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
- ③上ケースホルダーを躯体に【4-2】、【4-12】で取付けてください。
- ④上ケースホルダーにシーリングしてください。



■3 ブラケットの取付け

- ① 躯体にφ5.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
② ブラケットを躯体に【4-1】、【4-8】、【4-9】で取付けてください。



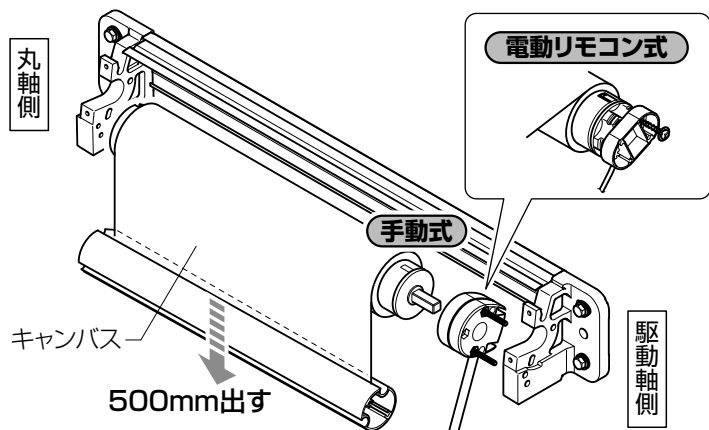
取付け手順 ④巻取りパイプの取付け

④巻取りパイプの取付け

※図は外観右側駆動になります。

ポイント

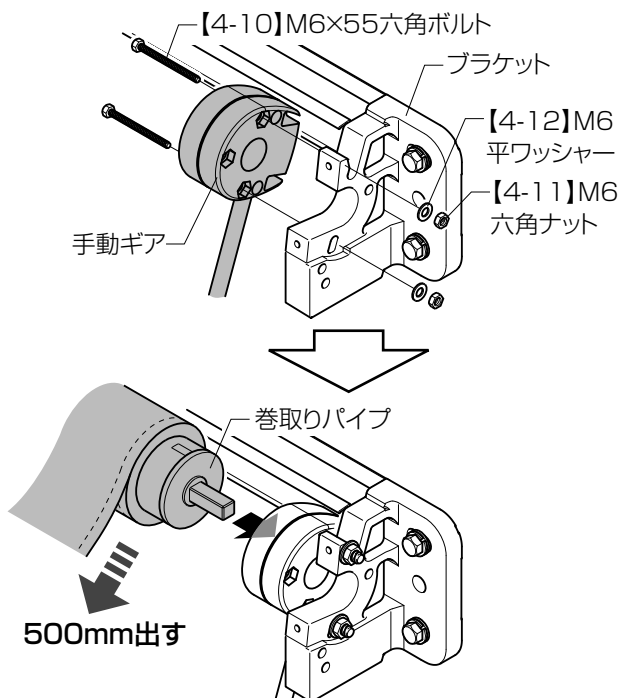
- キャンバスは約500mm出してください。



4-1 駆動軸側の取付け

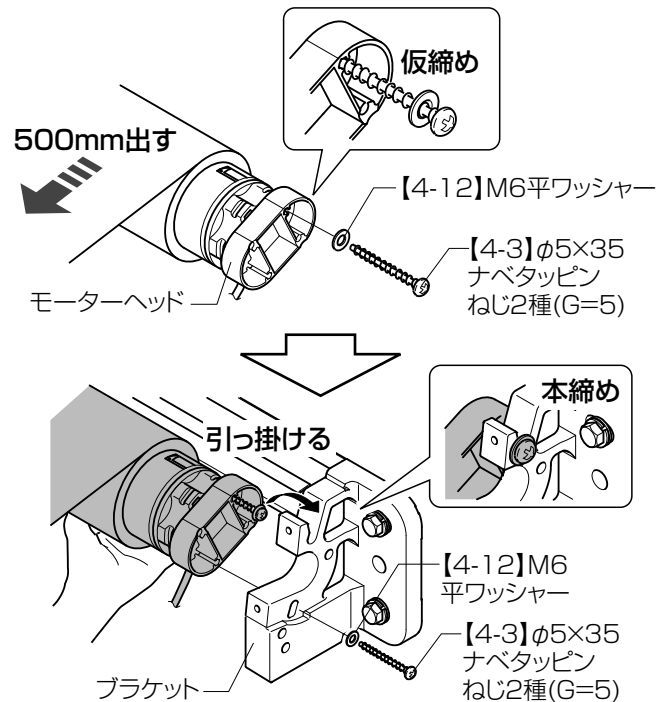
手動式

- ①手動ギアをブラケットに【4-10】、【4-11】、【4-12】で取付けてください。
- ②キャンバスを500mm引出してください。
- ③巻取りパイプの角軸を手動ギアにはめ込んでください。



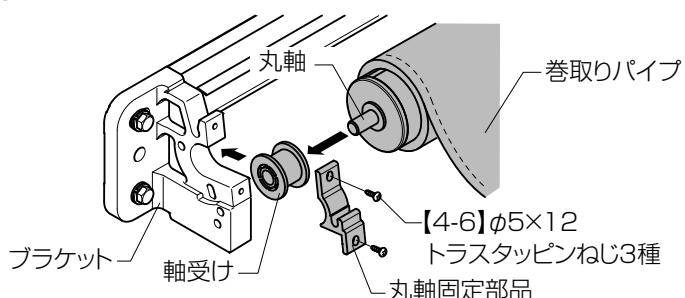
電動リモコン式

- ①キャンバスを500mm引出してください。
- ②【4-3】、【4-12】をモーターヘッドに仮締めしてください。
- ③巻取りパイプをブラケットに【4-3】、【4-12】で取付けてください。



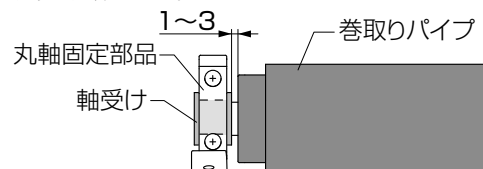
4-2 丸軸側の取付け

- ①軸受けと丸軸固定部品をブラケットに【4-6】で取付けてください。
- ②巻取りパイプの丸軸側を軸受けにはめ込んでください。



ポイント

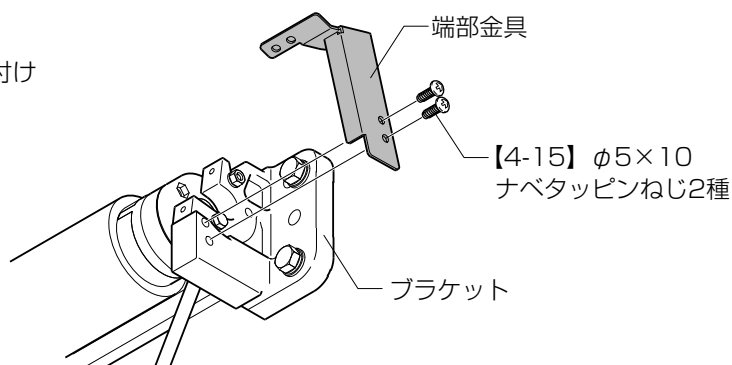
- 巻取りパイプと軸受けの間は、1mm～3mmあけてください。



取付け手順 ⑤端部金具の取付け ▶ ⑥アームの取付け

⑤端部金具の取付け

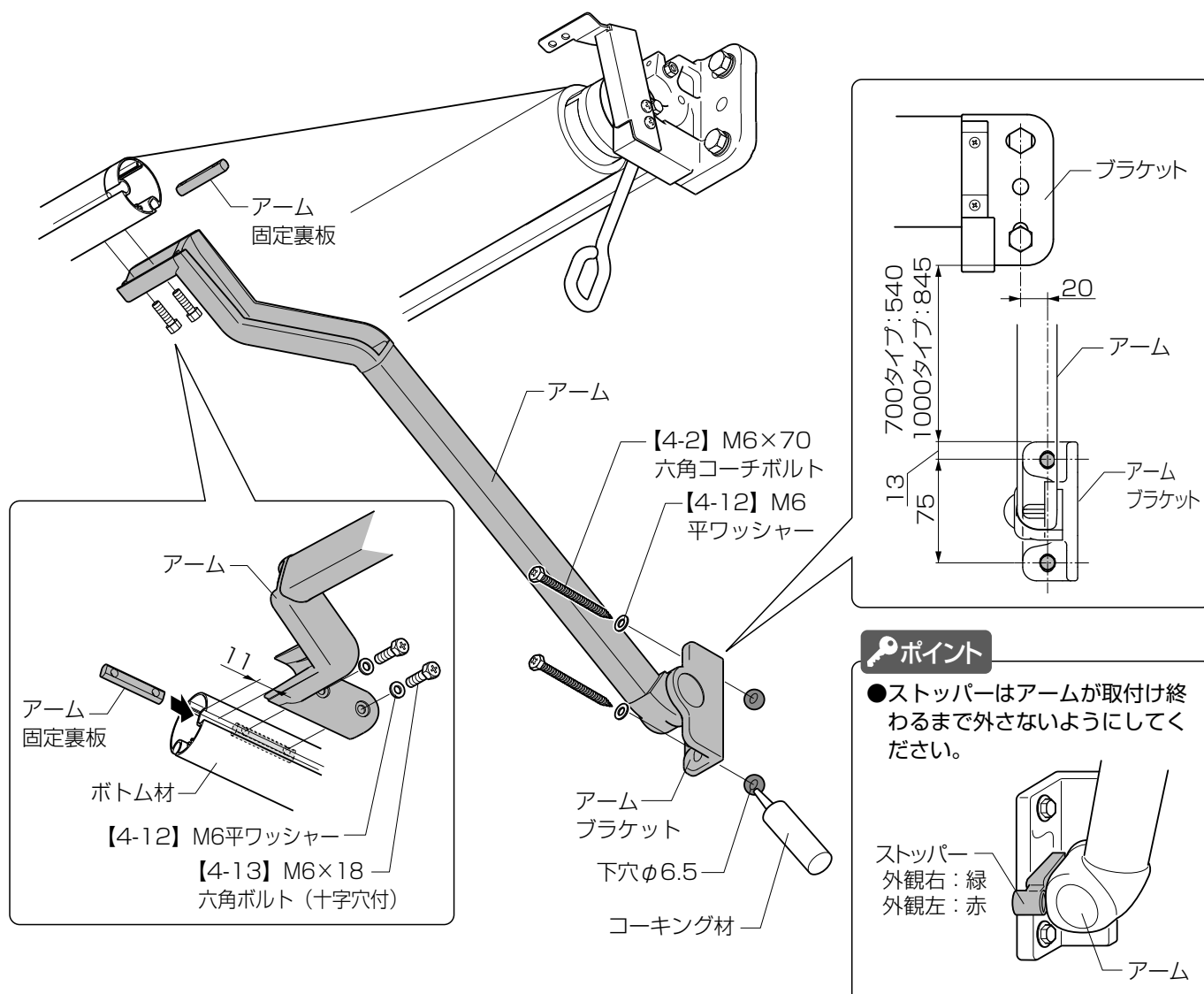
- ①端部金具をブラケットに【4-15】で取付けてください。



⑥アームの取付け

⑥-1 アームの取付け

- ①躯体にφ6.5の下穴をあけ、シーリングしてください。
 ②アームブラケットを躯体に【4-2】、【4-12】で取付けてください。
 ③アーム固定裏板をボトム材のボルトホールに挿入してください。
 ④アームをアーム固定裏板に【4-12】、【4-13】で取付けてください。



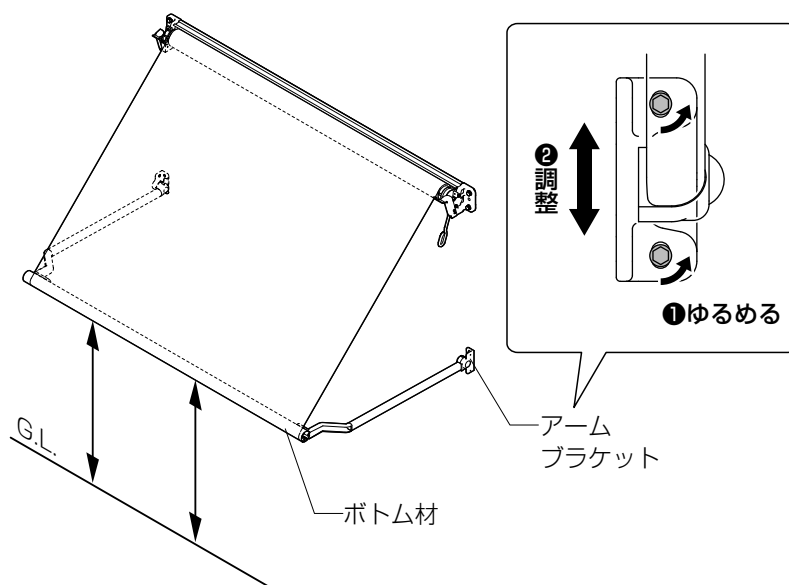
取付け手順 6 アームの取付け ▶ 7 電気配線

6-2 ボトム材の水平確認

●ボトム材の水平を確認してください。

水平でないときは…

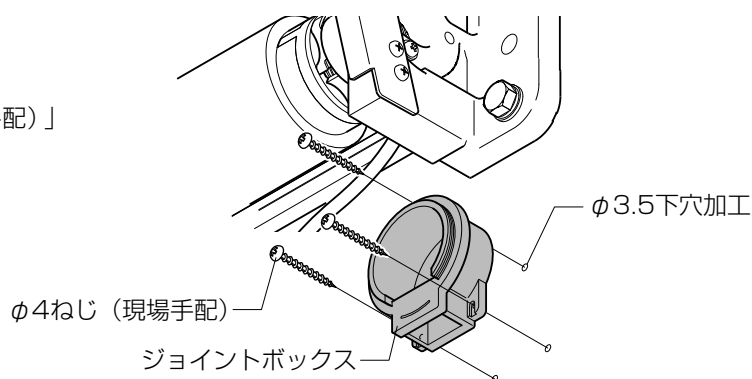
①アームブラケットの位置を調整してください。



7 電気配線 ※ 電動リモコン式 の場合のみ作業を行なってください。

7-1 ジョイントボックスの取付け

①ジョイントボックスを躯体に「φ4ねじ（現場手配）」で取付けてください。

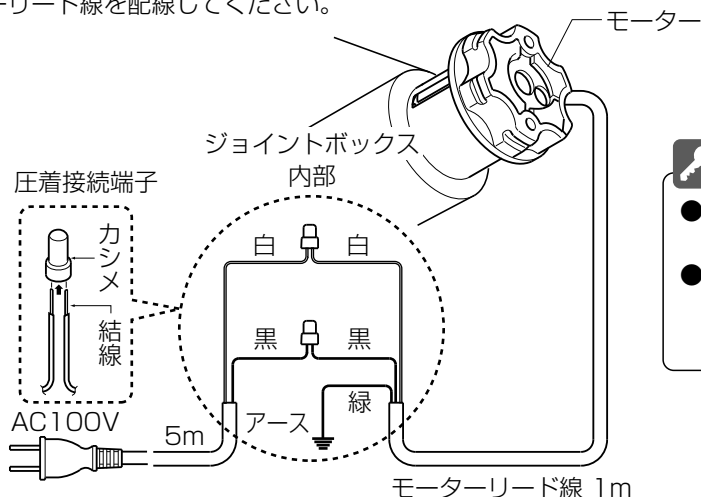


7-2 配線接続

⚠ 注意

- 感電・漏電のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・モーター電源を直結させる場合の電気配線工事は必ず電気工事有資格者が行ってください。
- ・電源線の接続は、電気が通っていないことを確認してから行ってください。

①モーターリード線を配線してください。



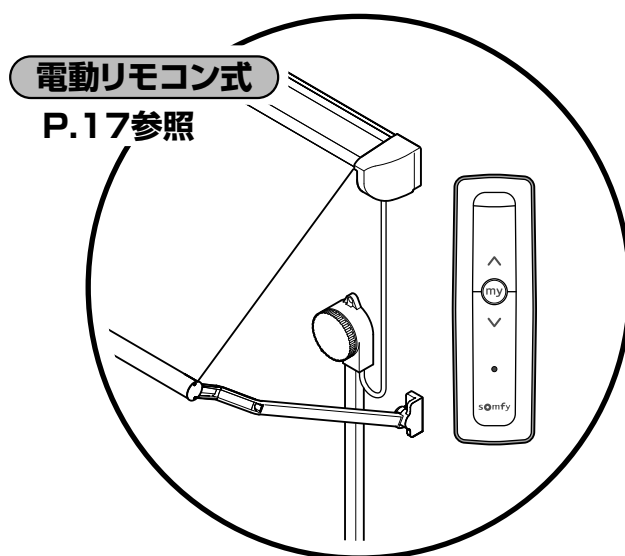
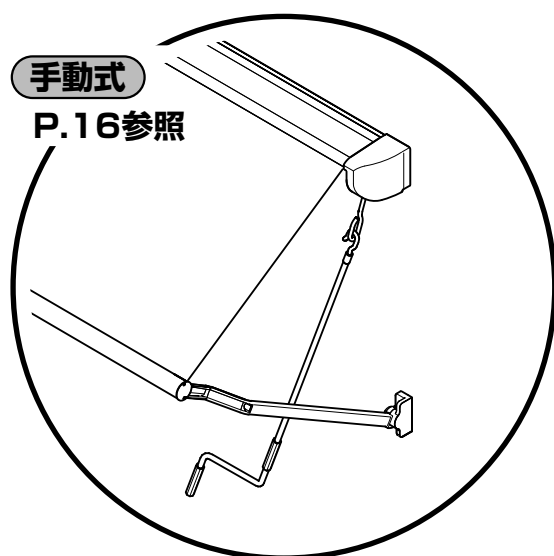
🔑 ポイント

- モーターリード線の切り詰めはしないでください。リモコン感度が悪くなります。
- モーターリード線を強く引っ張らないでください。シーリングが切れて漏水し、モーター破損のおそれがあります。

取付け手順 8開閉リミット(限界)調整

8開閉リミット（限界）調整

「**8**開閉リミット（限界）調整」は、
「**駆動方式**」により異なります。
対応する項目を参照の上、作業を行なっ
てください。



補足

リモコンは本イラストとデザインが異なる場合がありますが機能、操作、設定方法に変更はありません。

取付け手順 ⑧開閉リミット(限界)調整

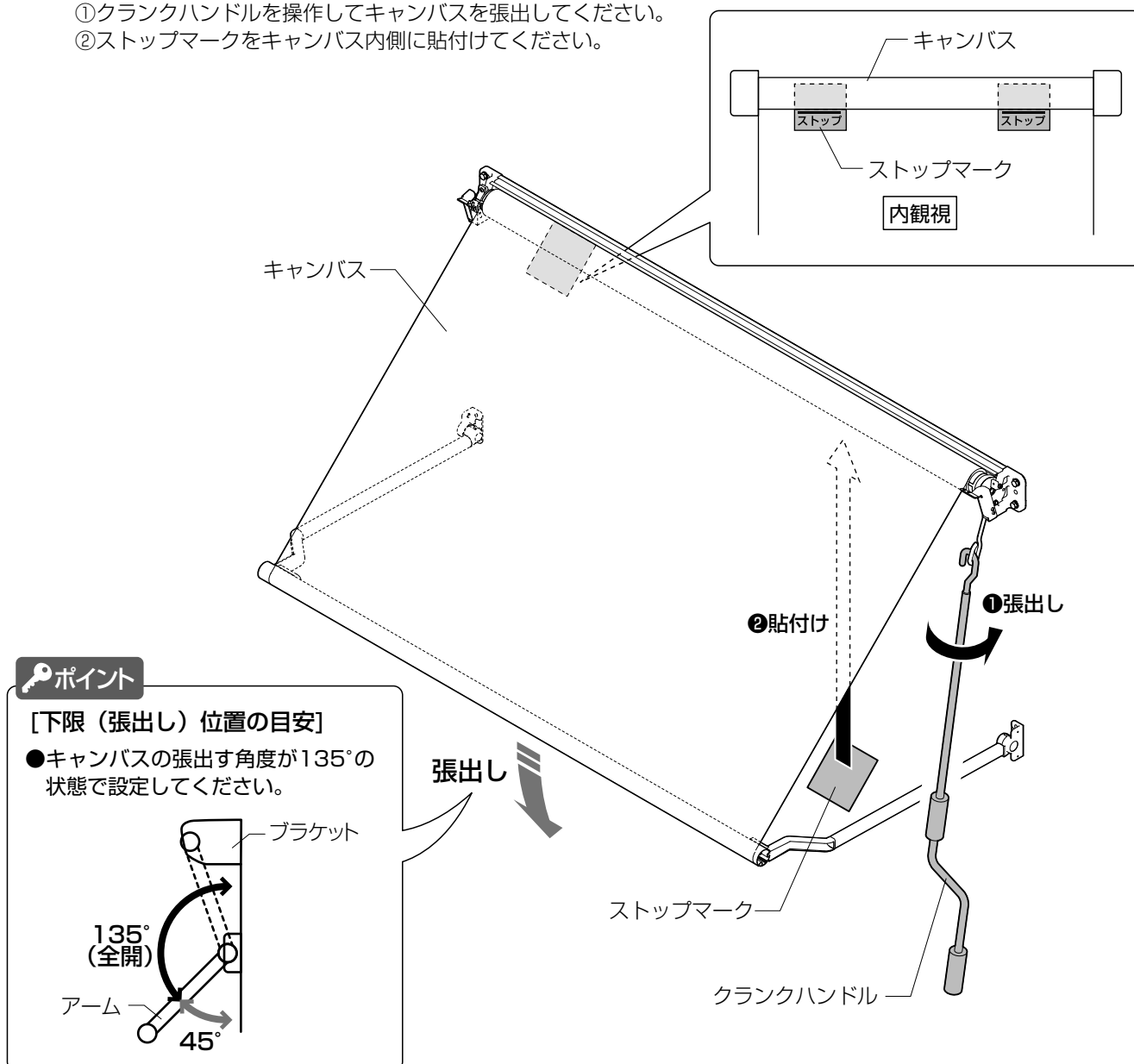
手動式

ポイント

- キャンバスを張出す場合、周囲に障害物（木の枝・電線・アンテナなど）がないか確認してください。
- リミット調整された範囲内であれば、途中停止状態でも使用できます。

(1) 下限（張出し）位置の設定

- ①クランクハンドルを操作してキャンバスを張出してください。
- ②ストップマークをキャンバス内側に貼付けてください。



作業が終わったら、
「⑨キャンバスの固定 (P.19)」へ進んでください。

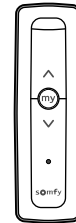
取付け手順 ⑧開閉リミット(限界)調整

電動リモコン式

ポイント

- キャンバスを張出す場合、周囲に障害物（木の枝・電線・アンテナなど）がないか確認してください。
- リミット調整された範囲内であれば、途中停止状態でも使用できます。
- 工場出荷時のリミット位置は仮設定です。現場や使用状況に合わせて、上限位置・下限位置の本設定をしてください。
- 開閉を頻繁に繰り返すと自動的に電源が切れます。その際は20～30分ほど休ませると操作が可能になります。

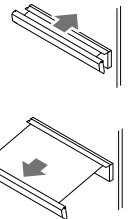
【リモコン基本方向】



▲ 【収納方向】

my

▼ 【張出し方向】



左駆動

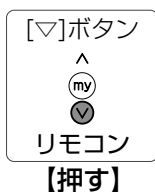
補足

- 左駆動に変更した場合、巻取りパイプを反転したことでリモコン操作の方向を逆に設定する必要があります。本手順は行わず、P.26「リモコンのオールクリアと再設定方法」を行ってください。

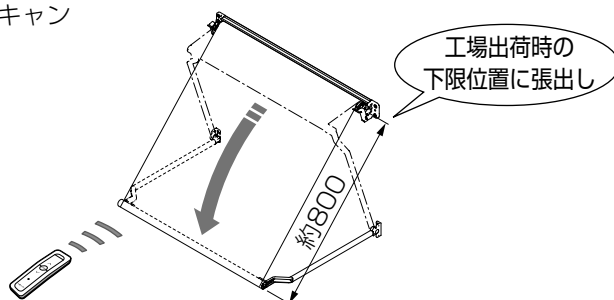
右駆動

(1) キャンバスの張出し（工場出荷時の下限位置：収納位置から約800mm）

- ①工場出荷時の下限位置にキャンバスを張出してください。



【押す】

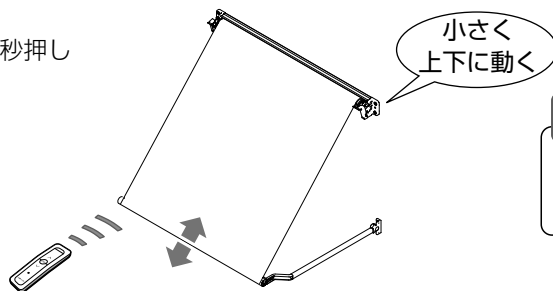


(2) 再設定の準備

- ①「▲」と「▼」を同時に5秒押ししてください。



【同時に5秒押す】



ポイント

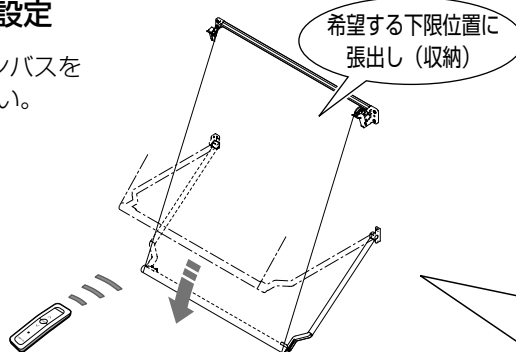
- 下限位置に張出されていないと反応しません。

(3) 下限（張出し）位置の設定

- ①希望する下限位置にキャンバスを張出し（収納）してください。



【繰り返し押す】



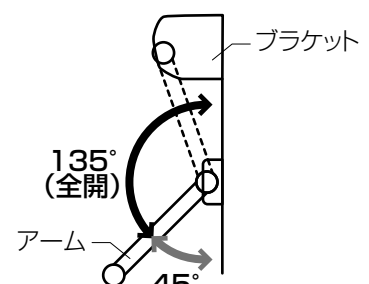
ポイント

- このとき、キャンバスは5秒間しか動かさません。続けて動かす場合は、再度ボタン操作をしてください。

ポイント

【下限（張出し）位置の目安】

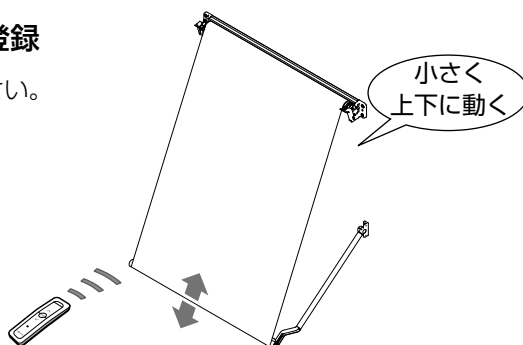
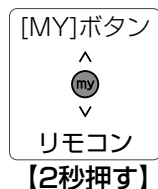
- キャンバスの張出す角度が135°の状態を設定してください。



取付け手順 8 開閉リミット(限界)調整

(4) 下限(張出し)位置の登録

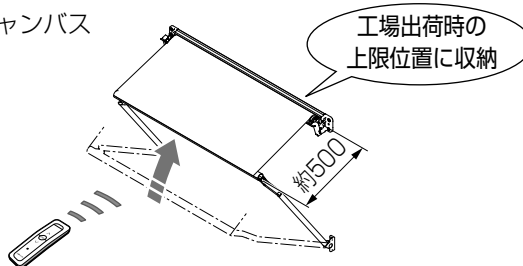
- ① 「**my**」を約2秒押してください。



下限位置の
登録完了

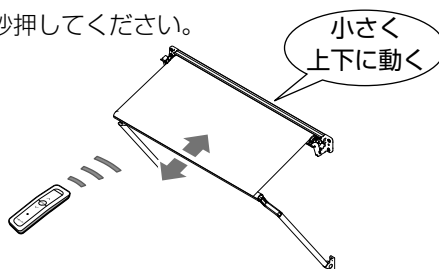
(5) キャンバスの収納(工場出荷時の位置: 収納位置から約500mm)

- ① 工場出荷時の上限位置にキャンバスを収納してください。



(6) 再設定の準備

- ① 「**▲**」と「**▼**」を同時に5秒押してください。

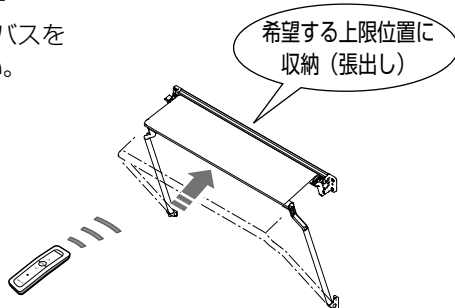
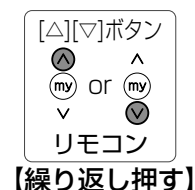


ポイント

- 上限位置に巻取られていないと反応しません。

(7) 上限(収納)位置の設定

- ① 希望する上限位置にキャンバスを収納(張出し)してください。

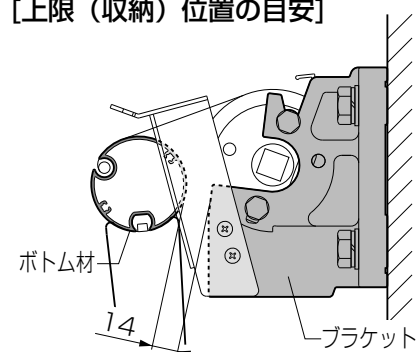


ポイント

- このとき、キャンバスは5秒間しか動かさません。続けて動かす場合は、再度ボタン操作をしてください。

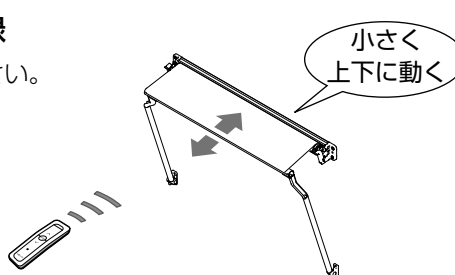
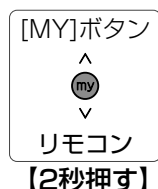
ポイント

[上限(収納)位置の目安]



(8) 上限(収納)位置の登録

- ① 「**my**」を約2秒押してください。



上限位置の
登録完了

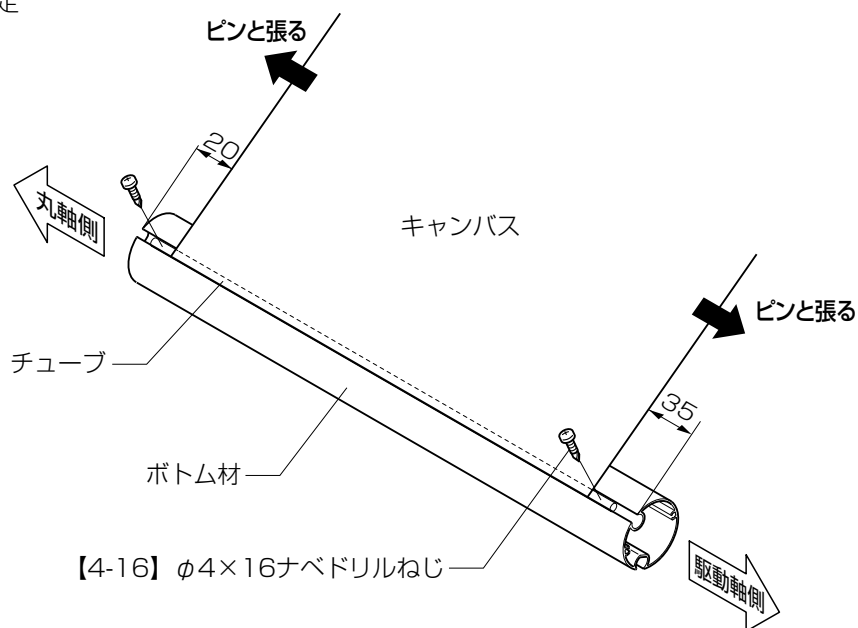
取付け手順 ⑨キャンバスの固定 ▶ ⑩上ケースの取付け

⑨キャンバスの固定 ※図は外観右側駆動になります。

- ①チューブをボトム材に【4-16】で固定してください。

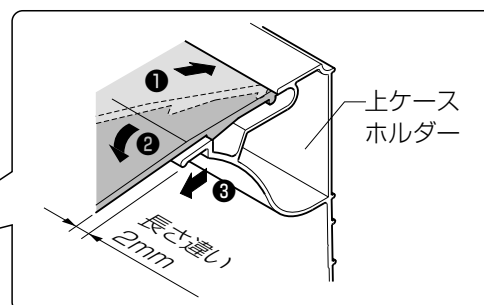
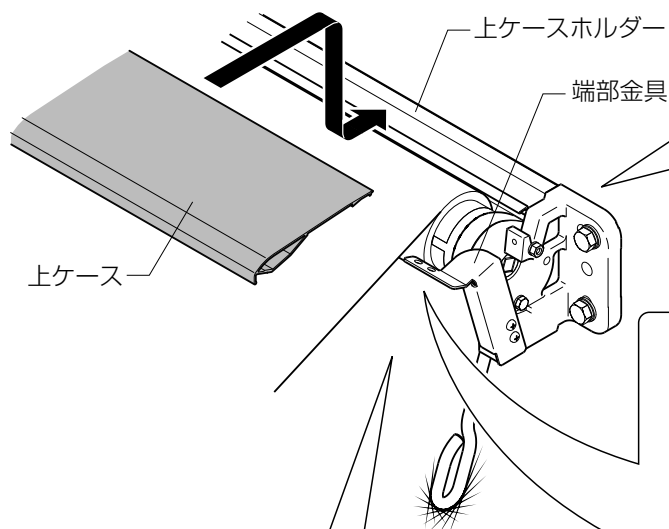
補足

- チューブを固定することで、キャンバス開閉時の横ズレ・巻きズレを防止することができます。



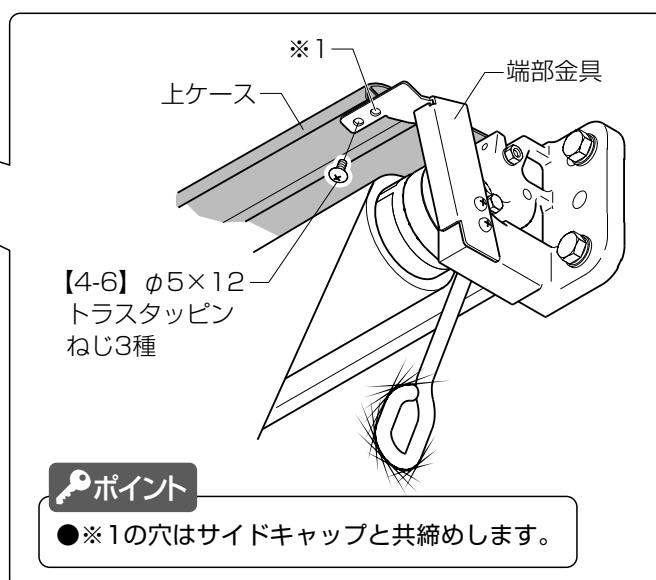
⑩上ケースの取付け

- ①上ケースを上ケースホルダーに差込んでください。
②上ケースを端部金具に【4-6】で固定してください。



ポイント

- 上ケースと端部金具の角度が合わない場合は、端部金具のボルトをゆるめ傾きを調整してください。



ポイント

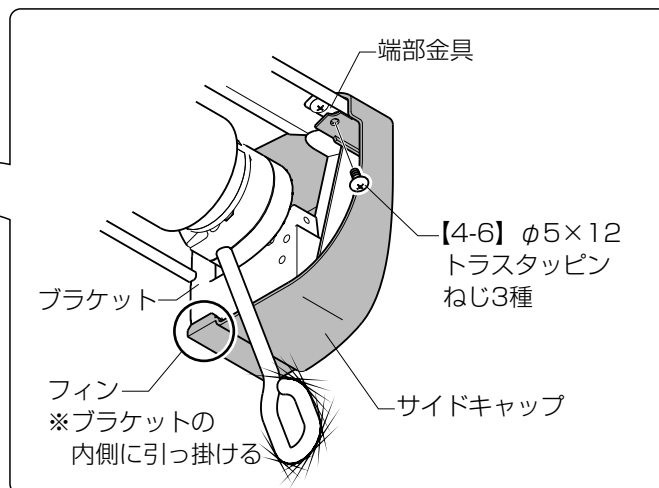
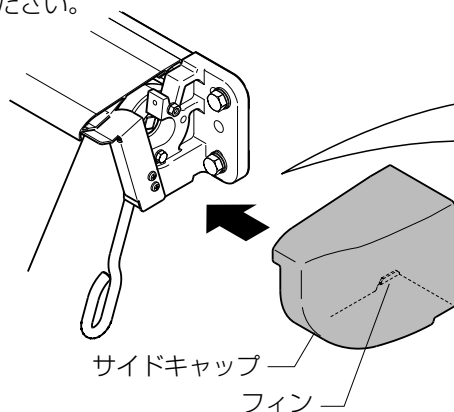
- ※1の穴はサイドキャップと共締めします。

取付け手順 Ⅲキャップの取付け

Ⅲキャップの取付け

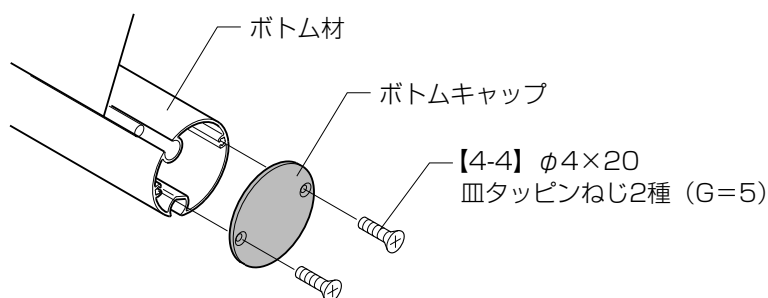
11-1 サイドキャップの取付け

- ①サイドキャップを端部金具に【4-6】で取付けてください。



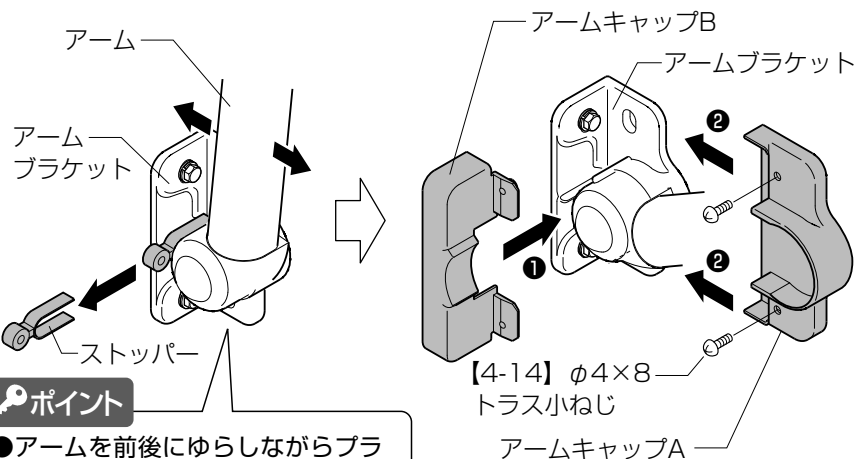
11-2 ボトムキャップの取付け

- ①ボトムキャップをボトム材に【4-4】で取付けてください。



11-3 アームキャップの取付け

- ①左右のストッパーをアームから外してください。
②アームキャップBとアームキャップAをアームブラケットに差込み【4-14】で取付けてください。
③アームキャップCにシーリングをして、アームに【4-7】で取付けてください。

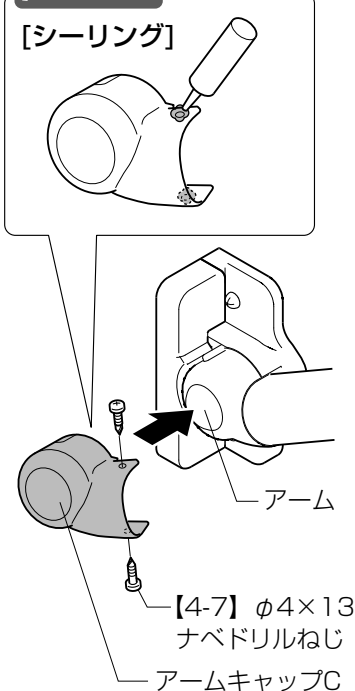


ポイント

- アームを前後にゆらしながらプライヤーなどでストッパーを引っ張って外すか、そのままアームを張出し方向に倒すと自然に外れます。

ポイント

[シーリング]



ベースプレート **オプション** 納まりの場合 **Ⅰ**ベースプレートの取付け

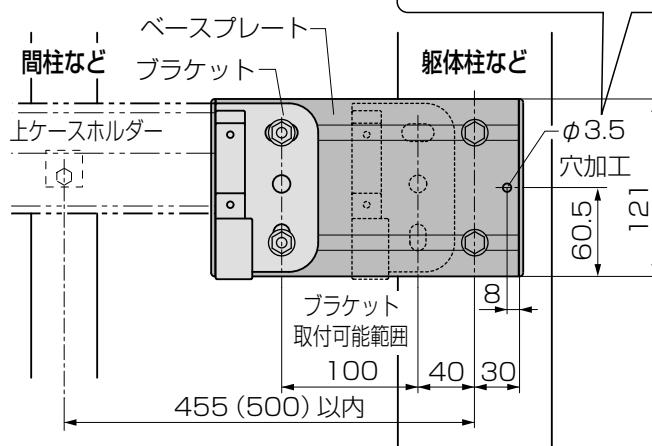
補足

- ベースプレート（オプション）は躯体に不陸がある場合やブラケットを直接構造材に取付けられない場合に使用する調整部材になります。
- 経年変化などで躯体の損傷が著しい場合は、お施主様と打合せをし、必要に応じて補修してから取付けてください。
- 設定サイズは「L=215」「L=600」「L=3330」となります。

Ⅰベースプレートの取付け

1-1 L=215：ブラケット位置が柱の内側（片支持）の場合

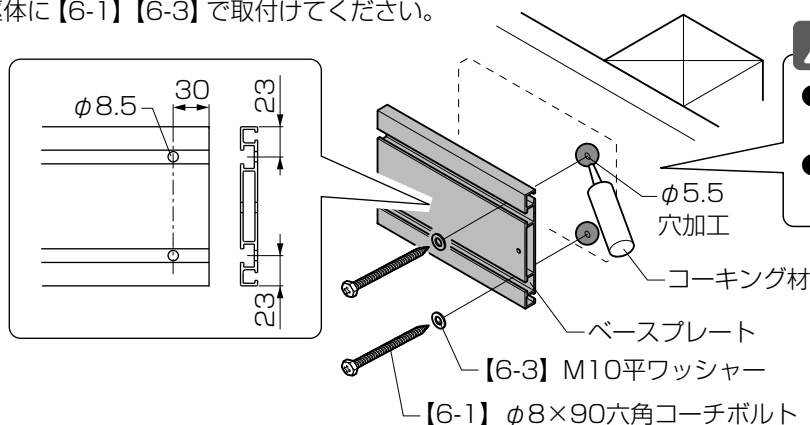
- ①各部材の取付け位置を確認してください。
- ②ベースプレートに端部キャップ用のφ3.5穴をあけてください。



ポイント

- 片側のみ加工してください。

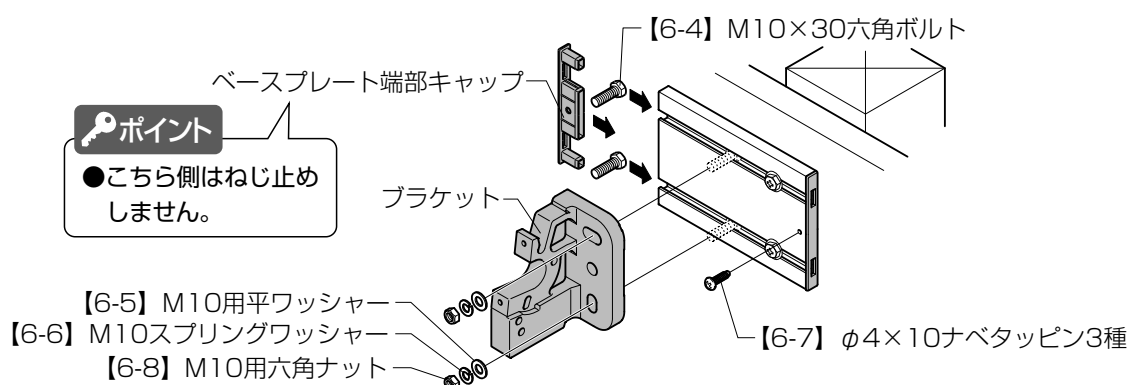
- ③ベースプレートの躯体固定位置にφ8.5の穴をあけてください。
- ④躯体にφ5.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
- ⑤ベースプレートを躯体に【6-1】【6-3】で取付けてください。



注意

- 躯体の構造材にネジ止めしてください。
- 必ずシーリングしてください。

- ⑥【6-4】をベースプレートに差込んでください。
- ⑦ブラケットをベースプレートに【6-4】【6-5】【6-6】【6-8】で取付けてください。
- ⑧端部キャップをベースプレートに取付けてください。



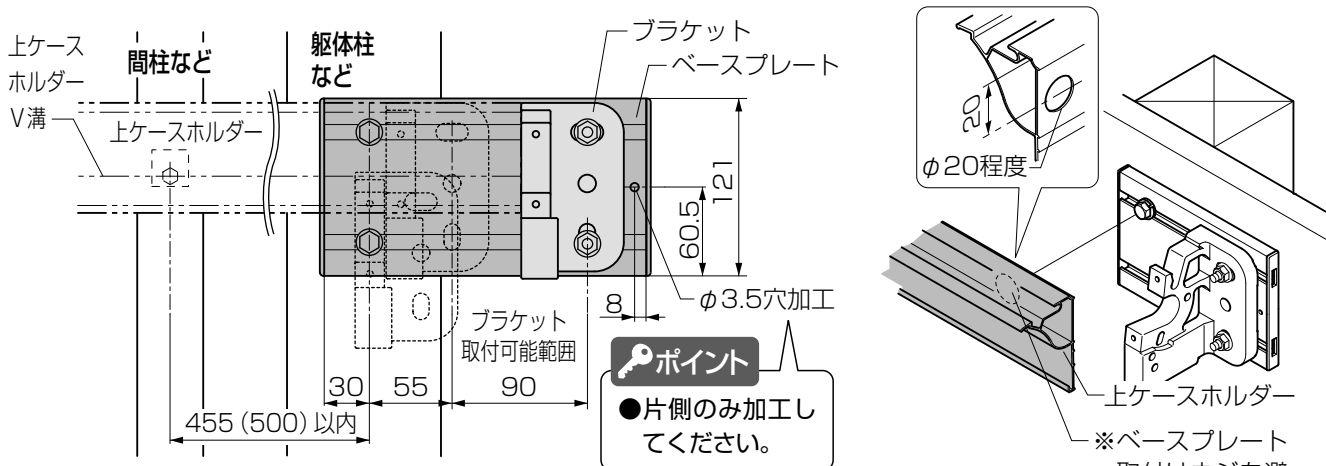
ポイント

- こちら側はねじ止めしません。

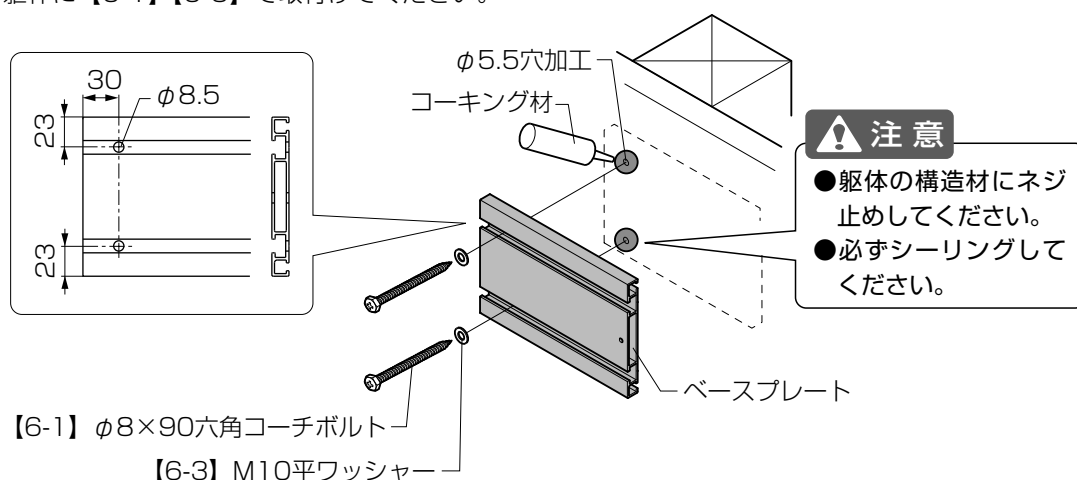
ベースプレート **オプション** 納まりの場合 ■ベースプレートの取付け

1-2 L=215：ブラケット位置が柱の外側（片支持）の場合

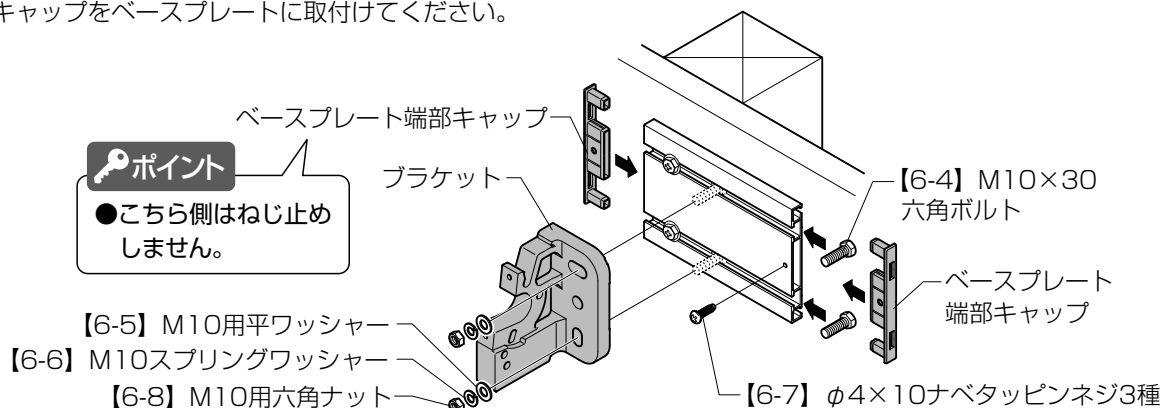
- ①各部材の取付け位置を確認してください。
- ②ベースプレートに端部キャップ用の $\phi 3.5$ 穴をあけてください。
- ③上ケースホルダーにベースプレート取付けネジを避けるための $\phi 20$ 程度の穴をあけてください。



- ③ベースプレートの躯体固定位置に $\phi 8.5$ の穴をあけてください。
- ④躯体に $\phi 5.5$ の下穴加工をし、シーリングしてください。
- ⑤ベースプレートを躯体に【6-1】【6-3】で取付けてください。



- ⑥【6-4】をベースプレートに差込んでください。
- ⑦ブラケットをベースプレートに【6-4】【6-5】【6-6】【6-8】で取付けてください。
- ⑧端部キャップをベースプレートに取付けてください。



ベースプレート **オプション** 納まりの場合 **■**ベースプレートの取付け

1-3 ベースプレート L=600・3330以上の場合

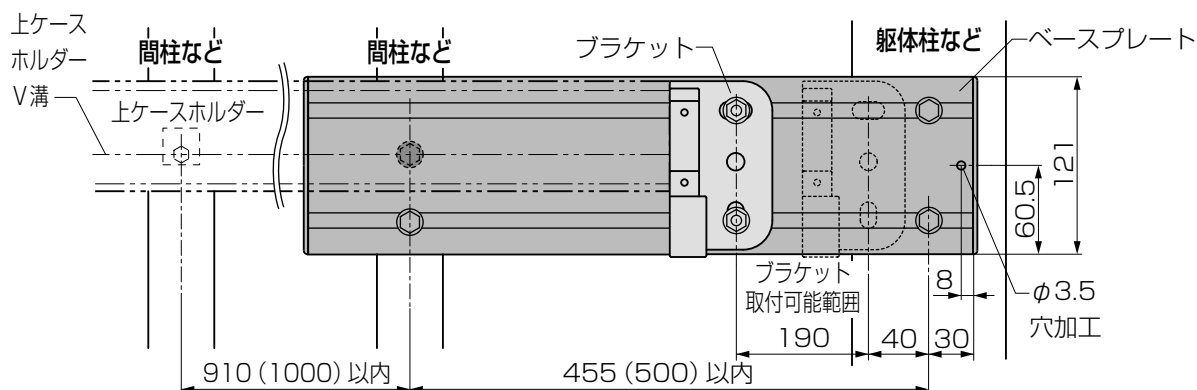
ポイント

- ブラケットをはさむ直近のベースプレート固定は【6-1】、【6-3】で2箇所ずつ固定してください。

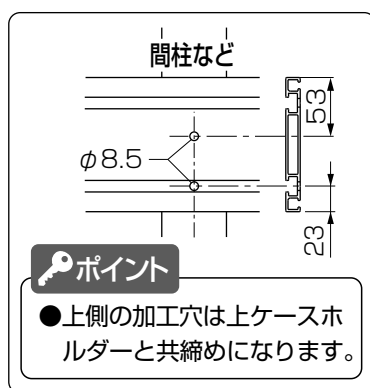
- ①各部材の取付け位置を確認してください。
- ②ベースプレートに端部キャップ用のφ3.5穴をあけてください。

ポイント

- 下図  のネジは上ケースホルダーと共締めになります。
(取付け詳細はP.24「**■**上ケースホルダーの取付け」参照)

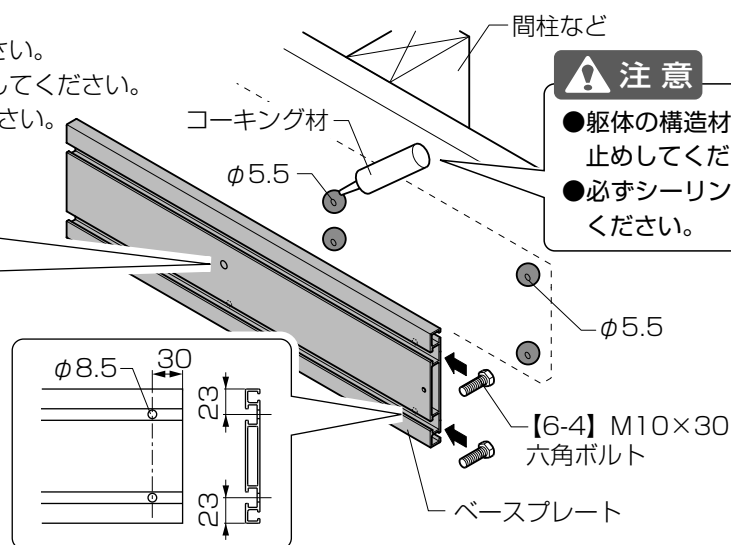


- ③ベースプレートにφ8.5の穴をあけてください。
- ④躯体にφ5.5の下穴加工をし、シーリングしてください。
- ⑤【6-4】をベースプレートにはめ込んでください。



ポイント

- 上側の加工穴は上ケースホルダーと共締めになります。



注意

- 躯体の構造材にネジ止めしてください。
- 必ずシーリングしてください。

- ⑥ベースプレートを躯体に【6-1】【6-3】で取付けてください。
- ⑦ブラケットをベースプレートに【6-4】【6-5】【6-6】【6-8】で取付けてください。
- ⑧端部キャップをベースプレートに取付けてください。

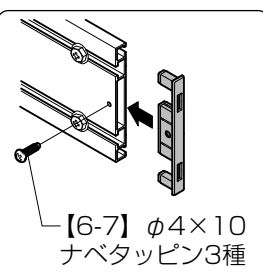
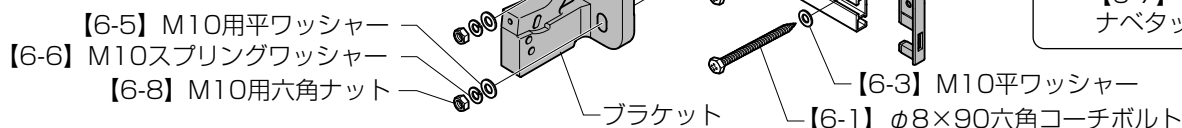
ベースプレート端部キャップ

ポイント

- L=600の場合、こちら側はネジ止め不要です。

ポイント

- 下側のみ固定してください。



ベースプレート **オプション** 納まりの場合 **2**上ケースホルダーの取付け ▶ **3**シーリング処理

2 上ケースホルダーの取付け

ポイント

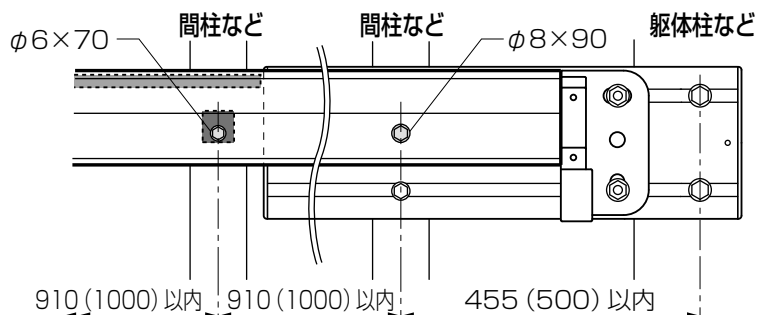
- 取付ける際は必ず躯体などの構造材に取付けてください。

【躯体への取付け】

- ①躯体に $\phi 4.5$ の下穴加工をし、シーリングしてください。
- ②上ケースホルダーに13mmスペーサー、クッション材を貼付け【4-2】【4-12】で躯体に取付けてください。

【ベースプレートへの取付け】

- ①上ケースホルダーを【6-1】【6-3】でベースプレートに取付けてください。

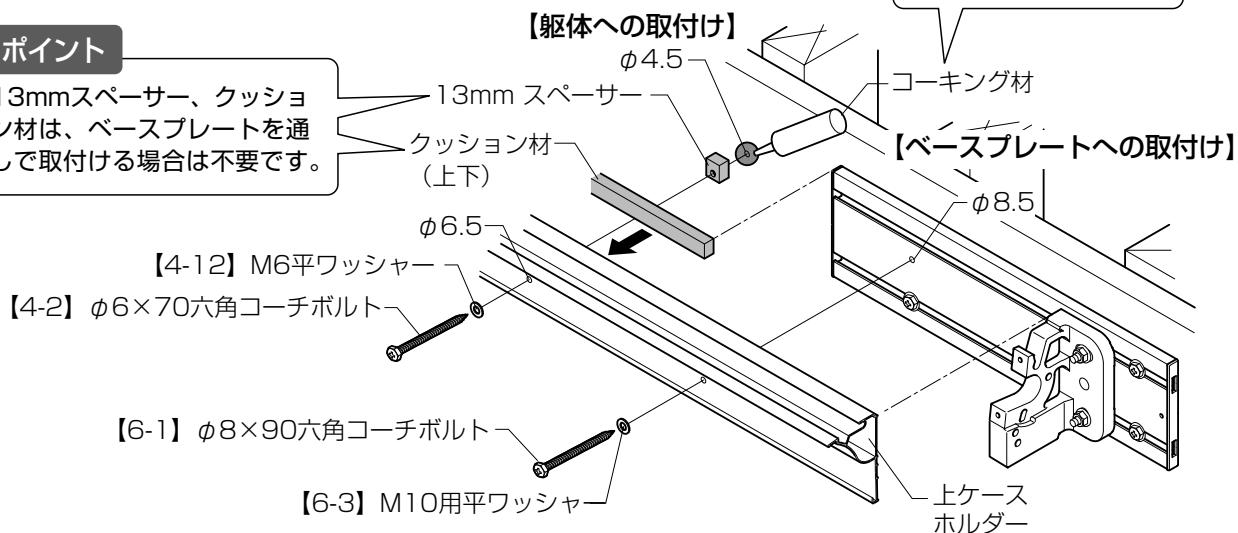


注意

- 躯体の構造材にネジ止めしてください。
- 必ずシーリングしてください。

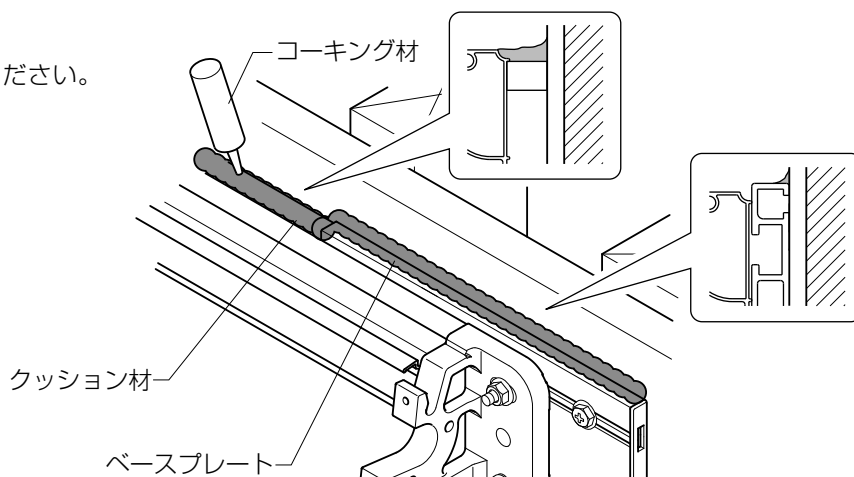
ポイント

- 13mmスペーサー、クッション材は、ベースプレートを通して取付ける場合は不要です。



3 シーリング処理

- ①躯体とのすき間にシーリングをしてください。



メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

リモコンのオールクリアと再設定方法

電動リモコン式

ポイント

- 通常の組立て時に行なう必要はありません。
- 「リモコンを押しても動かない場合」や「リモコンのボタン操作を逆にする場合」「思うように設定ができない場合」は本手順を行ってください。受信機に記憶されている情報を全て消して無設定状態にすることができます。
- オールクリアした時は1回のボタン操作でオーニングは約5秒間だけ動きます。連続して動かしたい場合は少し時間をおいてボタン操作を行ってください。

